

年 組 名前:



深田久弥の功績継承 没50年 韮崎市と石川・加賀市が共同宣言

「日本百名山」の著書で知られる登山家の故深田久弥にゆかりのある韮崎市と石川県加賀市は深田の没後50年に合わせ、深田の功績の継承や地域活性化などに協力して取り組むとした共同宣言を出した。情報交換を通じて両市の交流を図るとしている。

山岳環境を保全
深田は1903年、加賀市生まれ。第一高等学校（現東京大教養学部）で文学と山に親しみ、卒業後は東京帝国大文学部哲学科に在籍しながら改造社に入社。59年に山岳雑誌「日本百名山」の連載を始め、日本山岳会副会長も務めた。71年に
日曜日に深田をしのぶ深田祭を開催。加賀市では「久弥祭」と題した同様の行事が開かれていて、深田を通じて両市の交流があったという。

今年が深田の没後50年と深田祭開催40周年の節目に当たっている。市観光協会の担当者は「共同宣言を契機に両市の交流を深めながら、深田久弥の功績を広めていきたい」と話している。

共同宣言に関する締結書を掲げる内藤久夫市長（右）ら。左から、京エレクトロニクス、韮崎文化ホール

ことから、両市による共同宣言を採択。市観光協会によると、宣言では深田の功績の継承や山岳環境の保全などに努めるとし、それぞれがホームページで両市の観光情報を紹介し、地域活性化に取り組むとしている。

宣言は4月17日に韮崎市内で行われた記念事業で採択。18日には深田祭が開かれ、記念碑に献花したほか、約250人が茅ヶ岳に記念登山した。

(2021年5月12日付 山梨日日新聞 18面)

問1

①故深田久弥ひかだきゅうやはどのような人物で、②韮崎市とどんなつながりがあるのですか。

①
.....
.....

②
.....
.....

問2

韮崎市と石川県の加賀市が、深田の没後50年の節目などに合わせて出した共同宣言の内容を3つ挙げてください。

.....

.....

.....

問3

あなたは、登山やハイキング、トレッキングの楽しさ、面白さは何だと思いますか。

.....

.....